

## 2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	地盤震動小委員会		主 査 名：久田嘉章 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 振動運営委員会		委員長名：中島正愛 主 査 名：福和伸夫
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>強震動・地盤震動に関する研究上の諸問題、研究状況、動向を把握し、シンポジウムの開催、出版物の発行を行う。震源とサイトを特定した地震動作成手法の高精度化に貢献する。具体的な年度計画は下記の通りである。</p> <p>2009年度：第29回地盤震動地域交流会（仙台市）と第37回地盤震動シンポジウムを開催、新規刊行物の検討</p> <p>2010年度：第30回地盤震動地域交流会（富山市）と第38回地盤震動シンポジウムを開催、新規刊行物の企画</p> <p>2011年度：第31回地盤震動地域交流会（早稲田大学）と第39回地盤震動シンポジウムを開催、新規刊行物の企画</p> <p>2012年度：第32回地盤震動地域交流会（名古屋大学）と、第40回地盤震動シンポジウムを開催、新規刊行物「地盤震動の基礎と応用(案)」の執筆開始</p>		
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：久田嘉章（工学院大学） 幹事：永野正行（東京理科大学）、吉村智昭（大阪大学） 委員：関口春子（京都大学）、遠田晋次（京都大学→東北大学）、松島信一（京都大学）、上林宏敏（京都大学）、小山 信（建築研究所）、高井伸雄（北海道大学）、森川信之（防災科学技術研究所）、大野 晋（東北大学）、神野達夫（九州大学）、高橋広人（応用地質）、境 有紀（筑波大学）、藤本一雄（千葉科学大学）</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	<p><b>シンポジウム企画WG</b>：地盤震動シンポジウムの企画・調整</p> <p><b>地盤震動刊行企画WG</b>：刊行企画の検討</p>		
2012 年度予算	640,000 円	<p>ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：<a href="http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s4/index.htm">http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s4/index.htm</a></p>	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	<p>1. 第 32 回地盤震動地域交流会 <span style="float: right;">参加者数 63 名</span></p> <p>2. 第 40 回地盤震動シンポジウム「2011 年東北地方太平洋沖地震で何が起こったか - 巨大地震に備えるための地盤震動研究 (その 2) 」 <span style="float: right;">参加者数 194 名</span></p> <p style="text-align: center;">『同名資料』</p>
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	2011 年東北地方太平洋沖地震から 1 年以上経過し、地盤震動に関連するさまざまな研究成果が当委員会の委員などから発表されている。このため、主催した諸行事には大勢の参加者があり、活発な討議も行われた。年度目標は概ね達成できたと考えている
委員会活動の問題点・課題	関連する他委員会・WG との棲み分けが明瞭でないところがあり、委員の重複や負担などの点で、次年度に向けて調整が必要と思われる。